

フグの毒は餌から取り込まれ、性別や季節によって強弱がある。毒はテトロドトキシンという毒を持っている。トラフグは養殖されていて、食用魚だ。なのでトラフグはほぼ無毒だけど、クサフグは猛毒がある。テトロドトキシンの毒は、青酸カリの約1000倍の毒力で、有毒部(主に卵巣、肝臓など)を食べると、しびれや嘔吐などの中毒症状を起こし、死亡する場合もある。テトロドトキシンは、細菌によって生産され、中毒すると6~24時間後に死亡してしまう。フグにはテトロドトキシンの毒ではなくサキシトキシンという毒もある。

金沢漁港

漁港には-30℃の部屋があり、ものすごく寒かったです。魚が凍っていて、生臭かったです。

思ったこと

フグは、2種類の毒があったことが、分かりました。また、フグの毒は、強力で、6~24時間後には、死亡することが分かりました。

参考文献 発行所・学研マーケティング 2000年発行 魚
・ポプラ社 2008年発行 魚・水の不思議

